

活動名：第7回 TOMITA ファミリーカップ U12

日程：令和5年7月29日（土）・30日（日）

会場：会津レクリエーショングラウンド（天然芝）

参加：T6・L100 計16名

帯同：設楽コーチ

サポート：貝和コーチ

結果：予選リーグ

VS 矢吹 1:2 ●

VS ちくみB 2:1 ○

VS 行健 1:1 PK1:2 ●

4位リーグ

VS 芳賀 4:0 ○

VS 柴宮 0:1 ●

VS 湯本 1:0 ○

報告：設楽

この大会は、富田 SSS さんが主催し県外チームも招待する大規模（県外7チーム、県内29チーム、計36チーム参加）なフェスティバルで、毎年U12、U10の両カテゴリーに参加させていただいております。また、初日の夜は指導者懇親会がビューホテル郡山で行われるなど、選手や指導者も楽しめる機会となっています。

このフェスティバルの一週間前、会場となる七ツ森ペンション村グラウンドで私たちは合宿をしていました。その時に富田 SSS さんのコーチ陣がグラウンドに来て、コートライン引き作業をされていました。事前準備は前日のみならず大分前から行われていたので、富田 SSS のコーチも三日間は仕事を休んで準備している話を聞き、36チーム出場の開催は、ひとつのスポ少だけでこの規模を運営することはとても大変だと改めて感じました。

このように大きなフェスティバルにアーレとして参加できたことは幸せです。

二日間の天候は、猛暑となるカンカン照りで、相手との戦いに加え、暑さによる自分との戦いの両方に挑む過酷な試合環境でしたが、途中でリタイヤする子もいなかったのも元氣なアーレっ子を見ることができて良かったです。

さて、U12の部には1チーム出場でしたが、16名の参加者であったため、全員に経験を積んで欲しいという思いから前後半を2チームで戦うメンバー編成をしました。

L100チームとT6+L100の5年生チームの2チーム編成を基本として、専属キーパーが両チームにはいないため、代わり番こで役割を担っていただきました。

試合内容ですが、結果を見てのとおり得点も失点も少なく、接戦のような戦いぶりでしたが、試合内容としては失点は事故のようなミスによるもので、また得点は多くのシュートを放つても得点できないといったものでした。

前半を戦ったT6を主体としたチームは、相手と互角の戦いをしましたが、後半のL100を主体としたチームは一方的に攻め込むも得点できず惜敗・・・負けた気がしない結果となり、私も子どもたちも納得がいけない結果を受けとめるしかありませんでした。

特に初戦の前半のT6主体メンバーの戦い方が今回の課題となった「自分の心にスイッ

チが入っていない」プレーでした。暑さもありましたが、相手チームも同じです。

「人任せのプレー」、「相手に強くプレッシャーをかけないプレー」、「全力で走らないプレー」、「ボールや相手を怖がるプレー」、「自分のミスを知らんぷりする姿勢」などなど、自分の気持ち次第でしっかりできるプレーが怠っている場面が多々見られたことです。

そのため簡単に失点し、どう奮起して良いか分からないまま時間が過ぎていく状況であったため、この後の試合に響く結果になってしまうことが心配になり、平等時間の出場という訳にはいかず、U12の大会なので5年生を中心に早くから6年生へと交代を仕掛けました。

「自分の心のスイッチ」は試合に挑む気持ちや姿勢ができていないということです。

「勝ちたい気持ち」、「相手に負けない気持ち」、「自分の今のプレーを全力で出し切る気持ち」、「チームの一員としてみんなのために戦う気持ちや姿勢」など、試合をする上で必要不可欠な心のスイッチを入れて試合に挑んでほしかったです。

初戦はとても大事です。

緊張もあり、暑さもあったのでその気持ちを出せなかったのかとも思いますが、合宿明けでみんながまた集まり、気持ち的に「仲間との触れあいの楽しさ」だけが優先し、試合に挑む気持ちが初日の朝は薄れていることが感じられ、やはり初戦のプレーは上記のようになってしまいました。

心のスイッチの入れ方としての話しを初日最後にミーティングでしました。

それは、オンザピッチ「サッカーの時間」とオフザピッチ「試合以外での生活態度」のことで、オフザピッチの過ごし方で自分の心のスイッチを切り替えられることを伝えました。例えば、前日までにスパイクを磨いて準備すること、試合日の朝起きる時間、朝食のメニュー、会場での過ごし方など、試合に挑むための自分なりの準備で、試合に挑む気持ちの準備が整い、試合でのキックオフの審判のホイッスル聞いた瞬間にスイッチを入れられ、自信をもってプレーできるといった私の経験話しをしました。真剣に聞いている子もいれば聞いていない子もいましたが、それは自分次第なので今後のサッカー人生の肥やしにしてほしいと思います。

来月は2回、親睦のある岩根SSSさんとのトレーニングマッチを企画しました。お互いのチームで試合の経験を重ねて、戦い方を学ぶ機会として良い経験を積んでほしいと思います。月末はL100がMe&You大会に挑みます。今回のフェスティバルの様々な経験を通して、また成長した試合内容を見せてほしいと思います。

保護者の方々には、ゴール設営や片付け、暑い中での子どもたちへの温かい応援をいただきありがとうございました。引き続き、よろしくお願いいたします。

そして、富田SSSさま、協賛企業さま、交流していただいたチームの皆様、二日間ありがとうございました。

コーチ：設楽



